

施策評価シート

対象事業年度 令和 5 年度

政策	Ⅲ 環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	施策推進 責任者	企画調整室長・総務部長・港営部長・建設 部長	政策Ⅲ：環境・にぎわい 重点施策3・施策4
重点施策	3 にぎわい創出に向けた再開発の推進			
施策	4 うるおいと魅力のある港湾空間の形成			

1.PLAN(目的・展開内容)

※シート中、「感染症」とあるのは、すべて「新型コロナウイルス感染症」を指す。

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者、船会社、港湾運送事業者、荷主など名古屋港に集うあらゆる人びと	意図(どういう状態にしたいのか)	ガーデンふ頭のイベント開催等により港湾空間の更なるにぎわいや魅力を創出するとともに、名古屋港水族館などのにぎわい施設を活用し、ときめきとやすらぎを感じ、親しまれ、みんなの夢がふくらむ港
	サービスの対象物(何を)	親しまれる施設(集客施設・運河など)やイベントなど港湾のあらゆる機能への環境配慮や自然環境保全の取組		
展開	(重点施策3) ▶ガーデンふ頭では、「多くの人びとを呼び込むにぎわいの創出」、「人びとが長くふ頭に滞在できるくつろぎの場の提供」を基本方針として、民間事業者の資金とノウハウを活かした取組を進めます。また、中川運河にぎわいゾーンの魅力向上に向けて、プロムナードの整備、覆砂による底層環境の改善や水循環による水質改善などに取り組み、人びとが水辺に親しむ機会の創出に努めます。			
	(施策4) ▶ふれあい・交流拠点であるガーデンふ頭において、海の日名古屋みなと祭や船舶の一般公開等、年間を通じてさまざまなイベントを開催・支援するとともに、SNS等によるタイムリーな情報発信により、名古屋港の魅力向上・拡散の取組を進めます。また、ガーデンふ頭の名古屋港水族館や、新舞子マリンパーク、富浜緑地の運動施設等の観光・にぎわい施設を最大限に活用し、港のにぎわいを継続的に創出します。 ▶中川運河において、沿岸用地へのにぎわい施設の誘導や、水循環による水質の改善など、運河再生に取り組むとともに、歴史資産、観光拠点をめぐる海上交通ネットワークの形成を進め、都心部のにぎわいを港に誘導します。 ▶港のにぎわい創出や観光振興、地域経済の活性化等を目的として設立された「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」を通じ、クルーズ船社等へのセールスやクルーズ船寄港時の歓迎行事・観光案内を行う等、クルーズ船寄港増加に向けた取組を進めます。 ▶クルーズ船の受入れについては、旅客の利便性や安全性の確保を最優先に考え、より一層受入れ環境の充実・改善に取り組みます。			

重点施策3

2.Do(施策を構成する各事務事業の取組内容等)

コード	事務事業名 (担当課名)	令和5年度に実施した内容・結果	成果目標名 【指標型】	成果目標	年度					達成度	5年間の 状況	5年度までの達成状況に関する説明(要因・課題)	6年度 以降の 方向性	成果	今後の課題等	6年度以降の取組							
					元	2	3	4	5														
					上段:成果目標 目標値																		
					中段:成果目標 実績値																		
					下段:事業費(単年度・人件費込・国費除く)(単位:千円)																		
重施03 事01	ガーデンふ頭再開発の 推進 (再開発調整担当)	令和4年度にとりまとめた計画立案段階から開発主体の誘致 までを行政と民間事業者が協働で行う新たな取組を進め、公募により選定した協働事業者と令和5年8月に業務委託契約を締結し、愛知県、名古屋市と連携しながら検討を行った。	ガーデンふ頭再開発の進捗状況(全3工程) 【進行管理型】	①基本計画の策定 ②基本的な内容の具体化 ③事業者選定・事業化	1	1	2	2	3	未達成	遅れ	感染症の影響等により、令和2～3年度は事務が停滞したが、令和5年度は民間事業者と協働し、目標に向けて取り組んだ。	継続	維持	関係者との調整が必要な項目に多大な時間を要するため目標期間を延伸する必要がある。	引き続き民間事業者と協働し、事業化を目指すとともに、開発エリアの確保に向けた港湾業務機能の関係者等との調整を進めるなど、再開発の実現に向け取り組む。							
					1	1	1	1	2					維持									
					54,027	44,954	138,250	54,610	59,478														
重施03 事02	中川運河にぎわいゾーンの魅力向上 (金城・中川・南5区担当)	老朽化した護岸の改修・補修を実施するとともに、プロムナード整備に着手した。 また、東支線では、運河を眺められる視点場の整備、底層改善に向けた覆砂を実施した。	中川運河覆砂進捗状況(全4工程) 【進行管理型】	①現況調査 ②設計 ③工事着手 ④整備	1	2	3	3	4	未達成	やや遅れ	中川運河覆砂は東支線の松重ポンプ所南側水域の一部区間においてダイオキシン対策が必要となったため、整備まで至らず未達成となっているが、その他の区間については順調に進捗し、護岸補修は当初の目標通り完了した。 プロムナード整備については、整備前に老朽化した護岸の改良が必要であることから、北幹線・北支線の老朽化護岸の改良には多大な費用と時間を要し、沿岸用地利用者との調整も必要となるため、目標を下回った。	継続	維持	プロムナード整備について、老朽化護岸の改修には多大な費用と時間を要することから、整備計画及び目標値を見直す必要がある。また、沿岸用地利用者との調整をしながら事業進捗を図る必要がある。	プロムナード整備については、令和9年度開業予定であったリニア中央新幹線により、ささしまライブ24地区周辺において来訪者の増加等が期待されていたこと、また、令和7年度にささしまライブ24地区の区画整理事業が完了時期を向かえることや、名古屋市による堀止東側市有地の開発整備が令和6年度より予定されていたことから、中川運河にぎわいゾーンにおけるプロムナード整備を早期に実施することが期待されていた。本組合においては、このような開発状況を見据え、令和元年度にプロムナード整備の基本計画の検討を実施し、令和2年度から整備区間ごとの設計、令和3年度から整備を順次進める予定であったが、当初の想定より老朽化護岸の改修に多大な費用と時間を要することが判明したことから、事業進捗が遅れており、今後、整備計画及び目標値を見直す必要がある。							
					1	2	3	3	3														
			護岸補修延長(全1,100M) 【進行管理型】	東支線における既設護岸の補修延長(※最終年度は、令和4年度とする)	350	600	850	1,100	－	100%	順調												
					500	500	850	1,100	－														
			プロムナード整備延長(全1,540M) 【進行管理型】	北幹線・北支線におけるプロムナードの整備延長	－	－	300	1,140	1,540	16%	遅れ			維持									
					－	－	0	120	250														
					213,792	205,793	395,535	1,041,446	1,060,537														
			重点施策3コスト(合計)					267,819	250,747	533,785	1,096,056			1,120,015									

2.Do(施策を構成する各事務事業の取組内容等)										4.ACTION(課題・6年度以降の取組等)									
コード	事務事業名 (担当課名)	令和5年度に実施した内容・結果	成果目標名 【指標型】	成果目標	年度					達成度	5年間の 状況	5年度までの達成状況に関する説明(要因・課題)	6年度 以降の 方向性	成果	今後の課題等	6年度以降の取組			
					元	2	3	4	5					コスト					
					上段:成果目標 目標値														
					中段:成果目標 実績値														
					下段:事業費(単年度・人件費込・国費除く)(単位:千円)														
施04 事07	臨港緑地の管理・運営 (関連事業担当)	指定管理者とのモニタリングを毎月実施し、モニタリングの結果を基に指定管理者の業務内容を評価し、新たに名古屋港管理組合のホームページで公表した。 また、にぎわいや憩いの空間を提供するために、コロナ渦で休止していたイベントを再開するとともに、名古屋港ゴルフ倶楽部でのヨガイベントや新舞子マリナーパークでのビーチ運動会など新たなイベントを開催した。 なお、名古屋港ゴルフ倶楽部については、指定管理者からの提案により、指定管理業務により発生した利益の一部の納付を本組合が受けている。	利用者数(万人) 【単年度管理型】	指定管理者の目標値を参考に、平成30年度の野球場、テニスコート、運動広場、サイクリングロード、マリナーパーク(魚釣り含む)およびゴルフ場の利用者数(52万人)を12%上回る58万人を令和5年度の目標値とする。	56	57	58	58	58	100%	目標値どおり	利用者数は、コロナ渦による屋外施設の利用増加があったものの落ち着きが見られてきており、5年間を通してほぼ目標値どおりとなった。 満足度についても、5年間を通してほぼ目標通りとなった。	継続	維持	利用者数の維持と施設の維持管理の効率化。	引き続きモニタリングを実施するとともに、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスの提供に努め、イベントを実施することで多くの方に利用してもらえるよう、指定管理者に対し助言を行っていく。			
				53	58	63	59	58											
			利用者の満足度(%) 【単年度管理型】	平成30年度の満足度(75%)を5%上回る80%を令和5年度の目標値とする。	76	77	78	79	80	達成				目標値どおり			維持		
				83	78	78	82	80											
				539,200	378,243	353,441	418,861	327,545											
施04 事08	中川運河緑地(堀止地区)整備事業 (事業推進課)	水辺一体の緑地整備として植栽等を行った。	整備面積(ha) 【進行管理型】	整備面積は事業費による換算数量である。	1	1	1	1	1	達成	順調	ささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と一体的な整備を進め、予定通り令和5年度に完成した。	完了						
					1	1	1	1	1										
					14,764	27,995	20,966	9,429	22,803										
施04 事09	中川運河水質改善事業 (事業推進課)	松重ポンプ所の改修(新築工事、ポンプ設備工事、受変電設備工事、除塵設備工事)を行い完成した。	事業の進捗状況 (全5工程) 【進行管理型】	以下の項目のうち完了した工程数 ① 調査 ② 事業採択 ③ 設計(松重ポンプ所改修) ④ 吐出管設置(高度処理水活用) ⑤ 松重ポンプ所改修	4	4	4	4	5	達成	順調	予定通り事業完了した。	完了						
					4	4	4	4	5										
					14,009	99,112	100,160	382,020	133,271										
施04 事10	海上交通ネットワークの形成 (金城・中川・南5区担当)	海上交通ネットワークの形成を進めるため、利便性の向上に向け金城ふ頭小型桟橋の整備工事を進めた。	金城ふ頭小型桟橋整備の進捗状況 (全4工程) 【進行管理型】	下記項目のうち完了した工程数 ① 基本計画 ② 基本設計 ③ 実施設計 ④ 整備	2	3	3	4	4	未達成	やや遅れ	新型コロナウイルス感染症の影響や入札不調による工事の遅れなどにより、未達成であるものの、令和6年度には整備完了の見込みである。	延伸	維持	水上交通の誘導を進める名古屋市との連携。	金城ふ頭小型桟橋整備の令和6年度完了を目指す。 また、水上交通の誘導を進める名古屋市と引き続き連携していく。			
					2	3	3	3	3										
					43,209	44,133	9,900	326,224	188,934										
施04 事11	クルーズ船誘致の推進 (誘致推進課)	フェイスブック等のSNSを活用し、国内クルーズ船や外航クルーズ船の入出港等に加え、クルーズセミナーの開催、市民クルーズの実施などについて情報発信した。また、ホームページにてクルーズ船の入港予定のほか「名古屋港におけるクルーズ船受入の際の感染拡大予防マニュアル」の廃止、クルーズ船初入港について県民・市民に対し情報発信した。	情報発信数(件) 【単年度管理型】	一般市民向けにSNS等を活用したクルーズ船情報等発信数	10	30	33	36	40	達成	目標値どおり	当初の目標通り徐々に発信件数を増加することができた。 特に昨年度は、令和5年3月の外航クルーズ船入港再開により外航クルーズ船が多く寄港したことから、その機会を捉え効果的な情報発信ができた。	継続	維持	引き続き3号岸壁改良工事に伴い一般来港者の見学スペースに制限がかかる中で、適切な情報発信を行うことでトラブルを未然に防ぐ必要がある。また、今後も継続して適切な情報発信を行う必要がある。	国内クルーズ船および外航クルーズ船の今後の寄港増加の機会を捉え、引き続き積極的かつ効果的な情報発信を行っていく。			
					10	15	20	44	51										
					18,732	17,957	17,605	17,686	17,958										
施04 事12	クルーズ船乗客の安全 (誘致推進課)	ガーデンふ頭3号岸壁改良工事の影響により、入港するクルーズ船の一部を2号岸壁、金城ふ頭で受け入れを行った。感染症の法律上の位置づけが令和5年5月に見直されたことに伴い、名古屋港のマニュアル(感染症対策)を廃止したものの、引き続き感染症の状況を見据えながら受け入れを行った。 外航クルーズ船20隻、国内クルーズ船10隻の合計30隻について、安全で円滑な受け入れを行った。	受入対応に起因する事故件数(件) 【単年度管理型】	クルーズ船の受入対応を業務として遂行する上で、安全かつ円滑に取組むことが第一と考える。本組合が取組むクルーズ船受入対応に起因する事故件数を0件にすることを目標とする。	0	0	0	0	0	達成	目標値どおり	受入れに起因する事故件数は5年間0件で、目標を達成することができた。	継続	維持	今後クルーズ船の入港の増加が想定されるため、安全で円滑な受入態勢を確保しつつ更なる受入費用の削減の検討が必要である。	乗客の安全で円滑な受入体制を確保しつつ設営物の配置や仕様書を見直し、クルーズ船受入費用の内、款送迎行事等を精査するなど受入費用削減について検討する。 なお、受入の業務については、効率化に向けて令和7年度から指定管理者制度を活用していく。			
					0	0	0	0	0										
					26,951	19,545	20,021	48,799	140,744										

施策4コスト(合計)	1,978,835	2,106,083	1,961,212	1,736,093	1,876,983
合計(重点施策1+施策1)	2,246,654	2,356,830	2,494,997	2,832,149	2,996,998

3.CHECK(成果目標の状況・構成事務事業の妥当性)

施策 成果目標	年度		実績等	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
	目標値	人								
交流施設の来場者数	目標値	人	754万	756万	768万	781万	800万	99%		感染症の影響により来場者数が一時的に減少したものの、概ね目標を達成することができた。
	実績	人	714万	320万	452万	656万	790万			
クルーズ船入港隻数	(仮目標値)※	隻	45	50	55	60	60注	39%		感染症の影響により、入港隻数が一時的に減少したものの、令和5年3月より、外航クルーズ船の入港が再開されたことから、入港隻数は令和5年度は30隻となり前年度を上回ったが、60隻の目標を達成することができなかった。今後もクルーズ船の誘致に向け、受入環境の改善および利便性の向上を図りながら、クルーズ需要の喚起および寄港地としての魅力発信に取り組んでいく。 注:「名古屋港クルーズ船誘致に向けた行動計画(目標年度:令和4年度)」における誘致目標数に設定
	実績	隻	26	7	16	27	30			

※ 仮目標値 = 初期値(30年) + $\frac{\text{目標値(5年)} - \text{初期値(30年)}}{5\text{年間(中期経営計画期間)}}$ × 30年からの経過年数

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)	
適正・見直しが必要	